

社協だより

3.1

2018 No.73

〒876-0844 大分県
佐伯市向島1-1-3
社協会館「きずな」
TEL0972-24-2956
FAX0972-22-9031

SAIKI SHAKYO 編集・発行 社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会
E-mail/sashakyo@saiki.tv HP/http://www.sashakyo.or.jp

シリーズ
地域づくり大作戦②

支えあいの輪
広がっています



生活支援ボランティアグループ「鶴鶴クラブ」のみなさん



生活支援サービス 窓拭きの様子



居場所づくり～さざなみで行われている集いの場～

鶴見地域の高齢化率は46%以上となり、急速に高齢化が進んでいます。また核家族化の進行により、電球の交換、家具の移動、窓拭きなど今まで家族や近隣の方々に当たり前のようになられていたことが、高齢者の「ちょっとした困りごと」としてあがっています。このような中、困りごとの解決に向け「自分たちにできることは何か」と住民のみなさんで話し合い、昨年11月より鶴見地区社協を主体とし「住民たすけあいサービス」を開始しました。

活動の主な担い手は、生活支援ボランティア講座の受講者で結成されたボランティアグループ「鶴鶴クラブ」の皆さんです。空き家を活用して拠点の「さざなみ」を作り、誰でも気軽に寄れる「居場所づくり」やちょっとした困りごとへの対応として「生活支援サービス」を行っています。

活動はまだまだ始まったばかりですが、賛同いただける協力者も増えており、「高齢になっても安心して暮らせる鶴見」をめざし取り組んでいます。

目次

シリーズ地域づくり大作戦…表紙
平成29年度共同募金運動報告…2
さいき寄付本実施中！ ……2

寄付のお礼 ……3
心配ごと・法律相談 ……3
生活困窮自立支援 ……3

移転のお知らせ ……4
ボランティア活動保険について…4
編集後記 ……4

平成29年度共同募金運動報告

10月1日から12月末日まで「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに「赤い羽根共同募金」、「歳末たすけあい募金」運動を行ってきました。

市民の皆さまからのあたたかいご理解、ご協力をいただき、たくさんの募金を集めることが出来ました。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金は、大分県共同募金会を通じて、次年度に県下（市内）の社会福祉施設・福祉団体・社会福祉協議会へ助成される予定です。

また、歳末たすけあい募金は、各地域での餅つきや年末年始の配食サービス、ボランティア団体支援などへ活用させていただきました。

平成29年度

赤い羽根共同募金
7,369,305円
歳末たすけあい募金
4,356,564円



大分銀行四店合同コンペ



ボランティアくす楠



日本ボーイスカウト大分県連盟津久見第1団



大分ヤクルト販売(株)



佐伯城南中学校

歳末たすけあい募金協力団体等

- 佐伯城南中学校 ● 東雲中学校 ● 大分銀行四店合同コンペ
- 日本ボーイスカウト大分県連盟津久見第1団 ● 大分ヤクルト販売(株)
- 津井婦人会 ● 間越来だんせへ市 ● (株)なずなの塩 ● (有)米水津水道
- 米水津定置網組合 ● 大分県漁業協同組合米水津支店 ● 米水津水産加工協同組合
- 米水津分会歳末審査委員 ● 大分県農業協同組合米水津支店
- 米水津地区民生委員児童委員 ● ボランティアくす楠

(敬称略)



さいき寄付本実施中!

平成29年より実施している「さいき寄付本プロジェクト」を引き続き実施中です。

平成29年2月1日～平成30年1月31日までに9,583円の収益となりました。

一定額に到達した時点で災害時の活動備品を購入する予定です。

引き続きご協力を宜しくお願いいたします。

設置場所

トキハインダストリー
マックスバリュー
株式会社元屋印刷
佐伯市役所
佐伯市社会福祉協議会



香典返し

(住所)	(寄付者)	(故人)
【佐伯】		
大野西区	山内 正枝様	山内 惣太様
鶴岡町	宮川 稔様	宮川 貴文様
新女島区	染矢 博史様	染矢 賢幸様
西野区	疋田 唯義様	疋田 昌子様
岸河内区	川野 哲平様	川野 修司様
匠南区	富久 昇様	富久 綾子様
中川区	小野 隆司様	小野 英子様
黒沢区	大良 隆士様	大良 ヨネ様
狩生	東 忠明様	東 ハツエ様
上灘区	津田 智子様	津田 隆士様
白方区	大鶴 浩二様	大鶴 好美様
匠南区	飛高 博子様	飛高 和子様
長島町	小野 俊介様	小野 ヨシエ様
匠南区	工藤俊一郎様	工藤 久義様
片山区	箕河原信雄様	箕河原 誠様
【上浦】		
津井浦	本田 里美様	本田ユキエ様
【弥生】		
井崎	御鱗 治様	御鱗マサ子様
大坂本	高司 勝之様	高司 利江様
平井	竹田 輝様	竹田サキエ様
【本匠】		
笠掛	柴田 敦子様	柴田 學様

(住所)	(寄付者)	(故人)
笠掛	甲斐 和幸様	甲斐 茂雄様
【直川】		
下直見	佐々木正亀様	佐々木和子様
横川	武田 洋文様	武田 壽美様
下直見	工藤 吉昭様	工藤八重子様
横川	酒井 文宣様	酒井 美登様
【鶴見】		
羽出浦	安部 旬子様	安部マツ子様
【米水津】		
浦代浦	佐藤 邦弘様	佐藤 静子様
宮野浦	三宅 甚市様	三宅 正二様
竹野浦	木村 増郎様	木村 忠一様
宮野浦	清水かず代様	清水 武治様
色利浦	富松美智子様	富松 明様
【蒲江】		
丸市尾浦	塩月 悦次様	塩月カズヨ様
一般寄付		
下久部区	華丘流 華の会様	
物品寄付		
直川	匿名	図書券 他

寄付のお礼

次の方々から、ご寄附をいただきました。
紙面掲載にてご報告のうえ、心より厚くお礼申し上げます。

(受付期間：平成29年12月16日から平成30年1月31日)

要予約 弁護士の法律相談会

日付	時間	弁護士	会場
3/8(木)	13:30~15:30	三井嘉雄	社協会館「きずな」
3/15(木)	13:30~16:00	西山 巖	

※弁護士費用は、社会福祉協議会が負担いたしますので、無料です。
■問い合わせ：社協会館「きずな」(TEL.23-7450 担当 渡辺)

無料 民生委員による心配ごと相談会

日頃の生活の中で起こる些細な出来事の相談等、内容は問いません。お気軽にお越しください。

担当支部	日付	時間	会場
佐伯	3/7(水)	13:30~16:00	社協会館「きずな」



感動物語、かわいい物語、うれしい物語、大笑いする物語、悲しい物語など、身のまわりで起きた出来事を聞かせてください。

「たきな市の小さな物語」

おハガキ、封書、メール何でもOK
(住所・氏名・TELをお忘れなく)

プレゼント!



【宛先】〒876-0844 佐伯市向島1-1-3

佐伯市社会福祉協議会内 広報係

TEL:24-2956 Eメール sashakyo@saiki.tv

【募集期間】4月15日必着

【応募作品について】 厳正なる審査のうえ社協だより5月15日号に掲載予定です。尚、採用された方には佐伯市協イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」のグッズをプレゼント。

生活困窮者自立支援事業

暮らしのことや仕事のことなどで不安や困りごとがある場合、相談してください。相談は無料です

相談から自立まで継続して支援します

～ひとりで悩まないで～

一緒に暮らす息子が引きこもっている。自分も高齢な為、将来が不安。

仕事をしたいけど働けるか心配。自分に合った仕事が見つからない。

家計のやりくりがうまくできず、保険料や公共料金が払えない。

母親の介護のことが気になって仕事を続けられるか不安。



【問い合わせ】佐伯市くらしサポートセンター「きずな」
(佐伯市社協内) 電話 23-7450

社会福祉協議会事務所の移転のお知らせ

3月16日（金）に引越しの作業を行い、3月19日（月）から、佐伯市女島区にある佐伯市社会福祉センター（旧佐伯広域森林組合）に移転します。

通常業務に影響がでることも予想されます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

※佐伯市社会福祉センターとは？

子どもから高齢者まで、福祉と健康に関する活動に利用できる施設として、佐伯市が平成30年1月4日から開館しています。4月1日から社会福祉協議会が指定管理を受託し、管理運営を行います。

場所 佐伯市7255番地13（旧佐伯広域森林組合）

電話 0972-24-2956

FAX 0972-22-9031

※電話・FAXに変更はありません



地図データ ©2018 Google、ZENRIN

平成30年度 ボランティア活動保険について

ボランティア活動保険は、ボランティア活動への往復途上を含め、活動中のボランティア自身のケガや、他人の身体・財物に損害を与えたときに補償される保険です。

【保険料】

平成30年度	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ (基本+地震・噴火・津波)	500円	710円

【補償期間】

平成30年4月1日～平成31年3月31日

※期間途中の加入は、加入日の翌日から平成31年3月31日までの補償になります。

【加入手続き】

社協本部及び各支部にて受付を開始しております。

ご加入には、印鑑と掛け金が必要になります。

※団体加入される際は名簿(氏名・年齢)を持参していただくと手続きがスムーズになります。

ご協力をお願いします。

【問い合わせ】

佐伯市ボランティアセンター TEL：22-2150



編集後記

毎朝、我が家には「行ってきます」と元気に通学する子どもたちがいます。学校まで片道600mですが、雨の日など妻から歩けと怒られるため、私に「車で送って」と目で合図してきます。そんな理由であまやかしては駄目だと思いつつもかわいそうに思い、外で合流し送ってしまうことがあります。

私が子どもの頃、実家から学校まで片道4km。当時は、風雨でも親から送迎してもらった子どもたちは少なく、山や田畑に囲まれた薄暗い舗装されていない道を友だちと楽しく通学していたことを思い出します。

通勤する車内、春の日差しを肌に感じながら窓をあけてみるとあの頃と同じ風が吹いていました。

(おの)